



すっかり春めいて参りましたが、保護者の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。コロナ禍の中、様々な制約があり、3年生も在校生も思うようにならない時間がありましたが、本校生諸君は、毎日元気に活動しております。3年生も無事に卒業式を終え、受験に最後まで挑戦しております。

まもなく、木々が花を咲かせ、緑の葉を茂らせるすがすがしい季節がやって参ります。生徒諸君には新学年を迎え、新入生（後輩）を温かく迎える心構えを持って、この春を過ごしてほしいと思います。

1 令和3年度入試の報告

今年度の入試は、本当に紆余曲折を経て実施された、ある意味で「難しい入試」となりました。文部科学省の教育改革の一環として、英語外部検定の導入が延期されたり、国語や数学の記述式問題の導入も延期されるなど、出題方法が揺れただけでなく、コロナウイルスの影響で3月から5月までの3ヶ月間、休校措置がとられるといった予想外の出来事が重なった関係で、準備する高校生も指導者も、大きく揺さぶられました。

共通テストもコロナ対策で日程が3つ設定されるなど、前例の無い試験対応となりましたが、結果的には、通常の日程以外の特別日程で受験した学生はごく僅かとなり、大きな影響は出ませんでした。

本校では、受験生の応援等の自粛要請を受けて、従来行ってきた、3学年担任による応援を中止し、万が一に備えた緊急対応のみの準備を行いました。

この方法を採用することで、かえって集合時間を気にせず、各自の都合で受験会場に到着する計画を立てられた様であり、次年度以降は、このスタイルでも十分受験に耐えられるという教員からの反省も出されました。（生徒のアンケートでも、好意的な感想が多く見られました）

試験結果は、本校は、五教科平均点で昨年比+20.1点となり、大幅に上昇させましたが、全国集計（ベネッセ）でも文型が+4点、理型が+13点と予想されており、本校だけでなく、多くの学校で点数が上昇した様です。

しかし、本県の状況を見ますと、主な進学校は軒並みマイナスとなっており、A高-6.0点、B高-11.3点、C女高-25.0点、D女高-33.0点、E女高-25.0点と下がっているようですので、県内では、本校生はよく頑張った方であると言えます。

しかもなんと、五教科合計が450点未満の生徒は、県内で最も少なく、全員が最後まで努力した結果が現れたと言えます。

今後、大学入試結果が次々と届けられると思いますが、現時点でも、受験前にD判定E判定だった所から大逆転した生徒が数人見られるなど、最後まで本校生の成績は伸びていることが証明される学年となりました。

在校生についても、目の前の安易な情報に振り回されることなく、最後まで努力する道を選んで欲しいと思います。

2 2年生について

早くも高校生活が2年間終わってしまいました。様々な行事が思うように実施できず、残念な時間も多かったと思いますが、月日は静かに過ぎて行きます。そして間もなく第3学年となり、進路選択が目の前にやってきます。

これからの日々に大切なことは、①情報を正確にキャッチすること、②時間を有効に使うこと、③わからないことを放置しないことの3点を常に念頭に置き、自立（自律）した生活を送って欲しいと思います。

①情報を正確にキャッチすること、

大学の学園祭やオープンキャンパス等が中止され、ネット上の情報に限定されてきています。自分で積極的に情報を集め、進路研究をしていかねばならない状況となってきました。SNSを利用した様々な無責任な情報もたくさん流れていますので、正確な情報を選んで、確かな進路確立を目指すことが非常に重要です。本校が主催する学年部会などに積極的に足を運んで、卒業生やこれまでの生徒の状況などを正確につかんでいただき、ご家族で話し合う時間を持って欲しいと思います。

②時間を有効に使うこと

部活動の中心的な存在となり、勉強も部活動も本気で取り組む時間が増えてきます。学校行事の中でも中心的な存在となりますので、やりたい事や必要な事に費やす時間が多くなってきました。通学時間や休み時間、家で過ごす時間など、日常の生活の中で、時間の使い方を良く吟味し、有効な使い方が出来るよう計画的に行動しましょう。

③わからないことを放置しないこと

進路選択で最もやってはいけないことは、何となく決めてしまうことです。よくわからない情報に惑わされ、努力することもなく時間切れで進路が決まる…、そんな選択に良いことはありません。わからないことは、しっかり確認して「確かな情報」に変えていきましょう。先輩の言葉だけに頼らず、担任の先生や進路指導部に相談しましょう。

以上3点について、十分に留意して、これからの毎日を過ごして欲しいと思います。保護者の皆様におかれましても、是非ご配慮いただき、家族で話し合う時間を持っていただきますようお願い申し上げます。

3 1年生について

高校進学が決まってから2ヶ月間を自宅で過ごすなど、特別な毎日を過ごすところから始まった第1学年ですが、間もなく進級します。中学校の勉強との違いや学習するスピードの違いに戸惑っていた時期もあったと思いますが、もうすぐ先輩になります。

部活動でも手本を示し、勉強でもアドバイスできる存在になって欲しいと思います。新2年生に守って欲しいことは、上記①～③はもちろんのこと、④長い文章を読む習慣を付けること⑤英語検定を早めに受けること、を十分に意識して生活時間を計画して欲しいと思います。新3年生の諸君は、すでに担任や進路部講話などを通じて指導を受けているはずですので、スタートしていると思いますが、新2年生こそ必要な内容です。共通テストは、国語だけでなく、どの教科も非常に長い文章を読み解かねばなりません。英語検定の資格も求められます。是非、時間を作って、優先順位を考えながら、積極的に行動して欲しいと思います。

4 文武両道は、生徒の将来を切り開く

昨今の大学入試改革や高校教育改革においては、「主体性」や「思考力」「判断力」「表現力」といった様々な能力が求められるようになってきました。

調査書や大学への提出書類も大きく変化し、高校時代の活動歴や主体的な活動への取り組みが評価される時代となりました。

「勉強ができる」というだけでは、大学生活への扉は開かれなくなって来ています。将来、何を学び、何をしながら社会に貢献していくのか、持続可能な社会作りに寄与していくのか、自分に何ができるのか、そういった「主体的」な取り組みや個性を活かした学びや活動が評価される時代が確実に近づいています。

本校生は、3年生の最後の大会まで部活動加入率が90%を超えるという特色を持つ生徒達です。まさに時代の流れは、本校生にとって追い風となっています。自ら考え、自ら行動できる「主体的な学び」をめざし、思い切りエネルギーを発散する「青春の日々」を目指して欲しいと思います。16歳から18歳は、人生の中で一度きりの大切な時間です。その青春の日々を思いきり全力で過ごし、その中から、将来につながる時間をつかんで欲しい。結果も大切ですが、結果へと向かう努力や考え方、取り組み方が評価されようとしています。

「学習」だけで終わらない、素晴らしい高校生活を心から応援しています。

進路指導部

